



2002.7.15 第7号

発行 四国ゴルフ連盟 〒790-0921 愛媛県松山市福音寺55-1 電話 089-990-3260 FAX 089-990-3261

平成十四年度四国のアマチュアゴルフチャンピオン座を争う四国女子アマ、四国アマ選手権競技は五、六月にそれぞれ開かれ、女子アマは藤井里香選手(土佐CC)が大会初のプレーオフを制して十三年ぶり二度目の優勝、四国アマは学生の山本隆充選手(SGU)が好スコアで初Vを手にした。

女子アマ初のプレーオフ決戦



第22回四国女子アマ選手権(5月15・16日、伊予ゴルフ倶楽部、6054ヤード、パー72、83人参加) 今大会は、昨年度女王の座に返り咲いた二宮薫選手(今治CC)のV6がなるのか注目された。初

大亀理事長から優勝盾を手渡される藤井選手



優勝した藤井選手の話昨年の最終日、二宮選手と回って大崩れした。今年も途中で切れそうになったのを必死で耐え抜いた。やっと二宮選

手に追いつけてとても嬉しい。でも追い越せたいとは思っていない。高知国体の選手にも選ばれているので、緊張感を持続して頑張りたい。

プレーオフにもつれ込んだ。1ホール目(10番・パー4)、ピンそばにパーオンした藤井選手に対して、二宮選手はグリーン奥から執念のチップインバーディー

若手山本(SGU)が初陣優勝 ベテラン山中(土佐)は健闘2位

第22回四国アマ選手権(6月5・7日、坂出カントリークラブ、6728ヤード、パー72、205人参加、予選カットライン156ストロ

初出場の山本隆充選手(SGU)が初日からトップを走り、トータル1アンダーで優勝をさらった。明德義塾高生の昨年、四国ジュニア選手権(15・17歳の部)で連覇を果たし、今春東北福祉大に進学した。

競技会場の坂出CCはグリーンの高さが知られている。競技



初優勝に笑顔の山本選手

仕様のコースレートは73.6で競技委員会では優勝のスコアをレティーングパープレーの294前後と想定

していた。その上、好天続きでグリーンは段と難しくなった。上位の好成績は、

ハンディ30までOKです 「四国レディース」受付中



168(12坂本優里(エリエール松山)、山本久子(愛媛) 170(14郡真理(徳島フォレスト)、米村朱美(テュオ) 171(16熊岡美和子(錦山) 173(17那須愛理(詫間) 174(18掛水直美(琴平) 175(19二宮歌奈子(今治)、松岡まり(宇和島)、西山知里(エリエール松山) 177

第41回グランドシニア春季ゴルフ競技(5月29日、滝の宮カントリークラブ、76人参加) ①齊藤博信(徳島)80、H10、N70 ②高橋綱雄(今治)82、H11、71 ③森正(滝の宮)77、H6、71 ④山路昭松(山サイド)88、H16、72 ⑤

永野貞(松山)91、H19、72 ⑥西村陽吉(今治)87、H14、73 ⑦酒井俊雄(同)83、H10、73 ⑧榎塚利好(志度)77、H4、73 ⑨徳永義太郎(新居浜)85、H12、73 ⑩西山悟(ロイヤル高松)82、H9、73 なお、秋季大会は10月29日、ロイヤル高松で。

四国ゴルフ連盟主催の「第一回四国レディースゴルフ大会」の参加受付が七月十日から始まった。日ごろ選手権競技などに無縁の

一般女性ゴルファーにも公式競技への参加の機会を増やし、底辺拡大と技術の向上に役立ててもらおうのが狙い。このためアンダーハン

優勝した山本選手の話昨年、ジュニアを連覇できたので、四国アマでも勝ちたかった。両親が応援に来てくれ、その前で優勝できてとてもうれ

しい。7月の日本アマ(福岡)では四国代表として恥ずかしくないよう頑張りたい。

四国のトップアマの実力を示したものと、いえる。特に最終日の36ホールで、若手と互角以上に戦い、2位に入ったベテラン山中陽生選手の健闘は賞賛に値する。ただ、今大会出場選手の平均年齢は45.5歳で、10代、20代の参加選手は、割にも満たなかった。ジュニア育成、底辺拡大がまさに緊急課題であることを痛感させられた大会でもあった。最終成績は次のとおり(20位まで)。

- ①山本隆充(SGU)287 ②山中陽生(土佐)289 ③弘井太郎(SGU)293 ④金子景(阿南)297 ⑤小峰尚宏(志度)298 ⑥松山幹男(北条)299 ⑦仁木海渡(土佐山田)300 ⑧谷本伊知郎(屋島)300 ⑨二宮慎堂(今治)302 ⑩中原幹男(高成)302 ⑪中山俊紀(同)303 ⑫藤井悟志(伊予)303 ⑬羽井純(御所利国俊)303 ⑭唐津正二(高松)304 ⑮高木佳紀(琴平)305

第57回高知国体夏季大会ゴルフ競技の四国各県成人男女チームの顔ぶれが決まる。高知国体ゴルフ競技

第57回高知国体夏季大会ゴルフ競技の四国各県成人男女チームの顔ぶれが、このほど決まった。開催地の高知県は、昨年末から選手強化に取り組んでおり、今年

四国各県チームの顔ぶれ決まる。高知国体ゴルフ競技

四国ゴルフ連盟平成十四年度主催競技 7月24・25日 四国ジュニア選手権 北条CC 8月22日 四国クラブ対抗決勝 鳴門CC 9月4日 四国レディース大会 新居浜CC 10月2・3日 四国シニア決勝 四国CC 10月9・10日 四国ミッド・グランドシニア決勝 サンセット・ヒルズCC 第57回国民体育大会ゴルフ競技(高知) 9月21~23日 成人男子・土佐CC▽成人女子・土佐山田GC▽少年男子・黒潮CC▽少年女子・グリーンフィールGC

おらが倶楽部でござる

其の八 土佐カントリークラブ

昭和四十二年の開場から今年で三十五年、「土佐カン」と呼ばれている当倶楽部誕生のいきさつには、高知の県民性を象徴するような面白いエピソードがあります。

昭和五十二年、県下のゴルフ場は競争激化と石油危機に端を

「土佐カン」を全国に

昭和五十二年、県下のゴルフ場は競争激化と石油危機に端を

を全国に売り出して県外ゴルフ場を誘致する作戦に乗り出しました。そのころ知名度の高いゴルフ場は、有名なトッププロと専属契約して宣伝効果をあげていました。当倶楽部が契約したのは、昭和五十六年にプロデビューしたばかりの倉本昌弘プロ。小柄な飛ばし屋として、アマチュア時代から囑望されていた大型新



土佐カントリークラブ
〒781-5622高知県香美郡夜須町手結山668
TEL: 0887-55-2131

36ホールで 太平洋一望 晴れ舞台に 公式大会の

室戸の計36ホール。どのコースからもマリブルーの太平洋が見渡せ、黒潮を渡ってくる海風が吹き抜けて爽やか。全域にハイビスカスの花、フェニックスなどの亜熱帯植物が南国ムードを漂わせ、一年中暖かです。

発した深刻な経済不況にあえいでいました。そこで当時の総支配人、故・岩井督氏は「土佐カン」

人です。プロ転向後の活躍ぶりは予想通りで「土佐カン」の名が全国区になったのも倉本プロ

の功労と言ってもいいでしょう(現在はコースアドバイザー)。この功労と言ってもいいでしょう(現在はコースアドバイザー)。

幻の記念テレカ

倉本プロをめぐるこんなエピソードもあります。当時、倉本プロは中四国オープンで5年連続優勝し、6連覇は確実とみられていました。そこで当倶楽部は「6連覇を大宣伝し景氣付け」と、事前に記念のテレフォンカ

ードを千枚を制作、発売準備を整えましたが、皮肉にも優勝を逃して「幻のテレカ」になってしまいました。数々のトーナメントが開催されました。昭和四十八年の日豪トッププロ対抗戦を皮切りに開場二十周年を記念した関西プロ選手権、平成八年の日本シニア、ミッド・グラントシニア選手権、そして三十周年記念で三菱ギャラントーナメント...。こうした競技の開催によって、「土佐カン」の知名度は全国に広がりました。この貴重な経験と自信を今後のクラブ経営に生かし、多くのゴルファーに親しみてもらえるようにしたいと考えています。

六穀かゆ定食 (サンセットヒルズCC)

昨年から登場した人気の健康メニュー。赤米、もち米、丸麦、きび、そばの実、緑豆の六種を土鍋で炊き上げてある。食材はいずれも生命力の強い穀物でビタミン、ミネラル、食物繊維を含み、消化も良く栄養豊富。かゆ自体は薄塩の素材な食味なので塩昆布、岩のり、刻みネギなど薬味五種を添え、好みに応じて食べてもらう。「お客様の健康志向を考慮開発した」と、レストランの竹内昇チーフ。今後も地元の新鮮な旬の食材を活かしたメニューづくりを目指す。地元産のかますの一夜干しが付いて一人前九百円。

お四国随想

手島皓一

ゴルフと遍路になにか共通点があるだろうか、私はどちらも基本は歩くことだと言いたい。最近カートゴルフもあるが、遍路も同じように車で廻れる。これは文明が進めば止むを得ないことだろう。しかし、どちらも最後は自分の足で歩かねば達成できない。ゴルフに対する考えが変化したように遍路(信仰)に対しても変化が出るのは仕方がない。

遺徳を偲んで廻ったとも言う。さて、廻ることを「打つ」という。これは昔の人が廻るとき自分の名札を寺のどこかに打ち付けたことから出ている。

三回の御利益があるという。また「県すつ廻ることを「国参り」、これは四国の県と昔の国が一致しているから言える事である。通して廻れば「通し打ち」、区切れば



遍路について

空海がどんな考えで八十八ヶ所を作ったのかいろいろ説がある。人間の煩悩の数とか、人間の厄年、男四十二、女三十三、子供十三を合計したもの、また米という字を分解したとも言う。まあ、これはどうでもいいことで、要は己れ自身が八十八ヶ所を廻ることこそ大事だ。

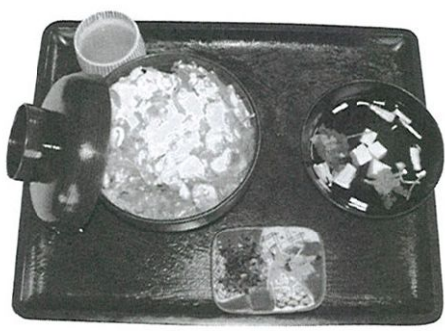
一番から順番に廻ることは「順打ち」、逆に八十八番から廻る事を「逆打ち」。これは前述の衛門三郎が始めたことで、「順打ち」

「区切り打ち」と言う。空海が一定の様式を作らずに自由にしたのは誰でも廻れる様になること、このことは先述のよ

編集を終えて

サッカーW杯が終わり、日本の決勝Tに進出もあって、この一カ月は国中がW杯一色でした。スタンドを埋め尽くしたサポーター、地鳴りのような歓声、W杯地区予選に参加した国・地域195、地球の延べ400億を越す人々が大会中継を見たというから野球の比ではありません。世界

のスポーツ・サッカーから学ぶことは多いでしょう。▲それにしても審判の判定でもめたのは残念でした。サッカーに限らぬ問題ですが、審判の目をこまかす手口は悪質化しているようです。スポーツ選手に欠かせぬフェアプレーの精神は、どうなったのでしょうか。でも、ゴルフはプレーヤー自身が審判でもある誇り高いスポーツです。やっぱりゴルフは素晴らしい。(T)



親子丼

(高松CC)

「三味一体」の慈味。親子丼は、数ある丼物の中でもその代表格だ。柔らかく煮えたトリ肉、たっぷりと具全体にかぶさった半熟卵、だし汁がしみ込んだご飯。この「三味」が調和して、口中に絶妙の慈味を生む。「親子丼は人気メニューの一つ。卵は黄身の濃い新鮮なものを選び、ふんわりと仕上げるのがコツです」とは塩入紀彦チーフのお話。おつと漬物が付いて一人前七百円。

桂浜1番グリーンからクラブハウスを望む。背後にはマリブルーの太平洋が広がる

いつ空海が作ったかというのも定かでない。空海四十二歳の時に彼自身が廻ったという説と、空海の死後、弟子の真済が空海の遺蹟、